

# 日本言語学会第 152 回大会 プログラム

会 長 窪 蘭 晴 夫  
大会運営委員長 佐々木 冠  
大会実行委員長 井上 逸兵

期 日：2016年6月25日（土）・26日（日）

会 場：慶應義塾大学三田キャンパス（〒108-8345 東京都港区三田）

Tel/Fax: 03-5427-1185 / 03-5427-1185（大会実行委員長 井上逸兵 宛）

E-mail: lsj152keio@ipinoue.jp

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

.....

## — 第 1 日（6 月 25 日） —

10:00-12:30	評議員会（評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。）	研究室棟 AB 会議室
12:00-	受付	西校舎 1 階 517 教室前
13:00-17:40	口頭発表（詳細は 2-3 頁にあります。）	西校舎 1 階, 2 階
18:00-20:00	懇親会	南校舎カフェテリア

## — 第 2 日（6 月 26 日） —

9:30-	受付	西校舎 1 階 517 教室前
10:00-12:00	ワークショップ（詳細は 4 頁にあります。）	西校舎 1 階
13:00-13:40	会長挨拶, 開催校挨拶（慶應義塾大学文学研究科委員長・言語文化研究所所長 松田隆美）, 日本言語学会学会賞授賞式, 会員総会	西校舎 1 階 517 教室
13:40-16:50	<p><b>公開シンポジウム</b> <b>「メディア翻訳の言語学」</b></p> <p>企画・司会：井上 逸兵（慶應義塾大学）</p> <p>「グローバル社会における紛争の表象とニュース翻訳：メディア談話の批判的分析」 坪井 睦子（順天堂大学）[S-1]</p> <p>「スポーツ報道におけるメディア翻訳」 多々良 直弘（桜美林大学）[S-2]</p> <p>「ゲームの海外移植：文字の訳から「体験」の訳へ」 オヘイガン 統子（ダブリンシティ大学）[S-3]</p> <p>「ポライトネス理論から見る日本映画翻訳のローカル化とグローバル化」 井上逸兵（慶應義塾大学）[S-4]</p>	西校舎 1 階 517 教室

公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表（6月25日（土） 13:00-17:40）

	<b>A会場（516）</b>	<b>B会場（515）</b>
	司会：[1-2] 西山 國雄, [3-4] 越智 正男, [5-7] 沈 力	司会：[1-2] 田村 幸誠, [3-4] 藤井 友比呂, [5-7] 小野寺 典子
13:00-13:30	[A-1] Brent DE CHENE Japanese derivational morphology and root-based syntax	[B-1] 深谷 修代 日本語壁塗り構文「塗る」の分析
13:40-14:10	[A-2] Hiroaki SAITO Saying in a hidden way	[B-2] 菅野 悟 目的語主格構文と能格構文の平行性
14:20-14:50	[A-3] Yong-Xin GAO, Megumi HASEBE, Ying BI, Can WANG, Wen-Qi REN, Chun-Zhu HUO, Michael SEVIER, Hideki MAKI On the particle <i>Zhi</i> in Old Chinese	[B-3] 高橋 英也, 江村 健介 いわゆるラ抜き言葉の形成における形態統語的制約について
15:00-15:30		[B-4] 野口 雄矢 日本語の命令文における主題化空主語の認可について
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[A-5] 石井 友美, 伊藤 さとみ 中国語の正反疑問文に見られる干渉効果について	[B-5] 山田 祥一, 並木 翔太郎 日本語における無助詞の機能と私的・公的表現性
16:30-17:00	[A-6] 星 英仁, 胡 亜敏 動詞重複を伴う中国語の動詞(句)移動について	[B-6] 金沢 じゅん 日本語の新聞の論説記事と投書文におけるメタディスコース研究
17:10-17:40	[A-7] 陳 学雄 漢語福清方言の受身構文に関する一考察	[B-7] 柴田 香奈子 修道院手話「手まね」の疑問表現

	<b>C会場（514）</b>	<b>D会場（513）</b>
	司会：[1-2] ダニエラ・カルヤヌ, [3-4] 小野 創, [5-7] 西村 義樹	司会：[1-2] 伊藤 たかね, [3-4] 狩俣 繁久, [5-7] 三宅 知宏
13:00-13:30	[C-1] ギュモ・セレスト フランス人日本語学習者における「ウ」の発音について	[D-1] 文 昶允 短縮語の形成方法に観察される世代差について
13:40-14:10	[C-2] 甲斐 ますみ 日本語母語話者と日英バイリンガル児童のモダリティ習得について	[D-2] 五十嵐 啓太, 納谷 亮平 語形成に見られる機能的動機付け — 指的特徴を持つ複合語を事例として —
14:20-14:50	[C-3] 津村 早紀, 峰見 一輝, 矢野 雅貴 日本人英語学習者によるガーデンパス文の処理 — 自己ペース読文実験による検討 —	[D-3] 大野 公裕 北海道方言「ラサル」の形態統語論
15:00-15:30	[C-4] 峰見 一輝, 津村 早紀, 矢野 雅貴 日本人学習者による英語 filler-gap 依存関係の処理 — 自己ペース読文実験による検討 —	[D-4] 林 由華 南琉球宮古語池間（西原）方言における焦点助詞 <i>du</i> と述語動詞モダリティの相互関係
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[C-5] 杉浦 航, 島田 博行 日本語を母語とする子供の条件文における部分否定の解釈	[D-5] 池 玫京 ケドとノダの共起関係 — ケドとノダケドの相違点について —
16:30-17:00	[C-6] テーボルト ジョセフ ロバート 依頼行為におけるアメリカ英語での <i>Could</i> ・ <i>Would</i> と会話の背景の関わり	[D-6] 陸田 利光 補助動詞「ておく」+デオンティックモダリティにおける事態の未完了性
17:10-17:40	[C-7] 辛 蒙 多義動詞「つながる」の意味分析 — 「因果関係用法」に注目した通時変化の考察 —	[D-7] 志波 彩子 近代日本語における依存構文の発達 — 間接疑問構文の客観化を契機として —

	<b>E会場 (512)</b> 司会：[1-2] 玉岡 賀津雄, [3-4] 北原 久嗣, [5-7] 古賀 裕章	<b>F会場 (524)</b> 司会：[1-2] 内海 敦子, [3-4] 渡辺 己, [5-7] 佐久間 淳一
13:00-13:30	[E-1] 廉田 浩 日本語存在表現における場所標示格(所格)の先行性と 脳内視覚認知機構との関係仮説	[F-1] 塩原 朝子 インドネシア語・マレー語における di-構文 (いわゆる 受動文) の機能：標準/口語インドネシア語とスンバ ワ・マレーの eventive 節からの考察
13:40-14:10	[E-2] 時本 真吾, 時本 楠緒子, 宮岡 弥生 脳波計測による語用論的推論の時系列と心の理論との 関わりの検討	[F-2] 野元 裕樹 受動文の接語重複分析再考：古典マレー語の di-受動文
14:20-14:50	[E-3] 本多 正敏, 大久保 龍寛 感嘆文における否定の島再考	[F-3] 中本 舜 ポポロカ語テマラカユカ方言における2種の名詞複合
15:00-15:30	[E-4] 木村 宣美 動詞句削除：2種類の be に基づく分析	[F-4] 蝦名 大助 カムサ語の動詞における人称標示 —肯定形の場合—
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[E-5] 野中 大輔, 堀内 ふみ野 underestimate とは言っても underheat とは言わないのは なぜか —動詞接頭辞 over-と under-の対比から—	[F-5] 大亦 菜々恵 ヒタイト語の使役機能を持つ接辞-nu-と通時的変化
16:30-17:00	[E-6] 鈴木 智也, 小町 将之 英語命令文における主語の随意性について	[F-6] 内山 祐里奈 古アイルランド語の分裂文における鼻音化関係活用に ついて
17:10-17:40	[E-7] 水野 輝之・アーリーワイン マイケル芳貴 多重 wh 疑問文のペアリスト解釈とスルーシング	[F-7] 山田 怜央 アイルランド語の‘be done’構文と動作主人称

	<b>G会場 (522)</b> 司会：[1-2] 千田 俊太郎, [3-4] 五十嵐 陽介, [5-7] 新田 哲夫	<b>H会場 (527)</b> 司会：[1-2] 林 範彦, [3-4] 塚本 秀樹, [5-7] 呉人 恵
13:00-13:30	[G-1] 姜 英淑 韓国語釜山方言の接尾辞による派生語形成のアクセント	[H-1] 倉部 慶太 ジンポー語における人称階層に基づく動詞の一致
13:40-14:10	[G-2] 李文淑 韓国語光州方言の外来語アクセント	[H-2] 落合 いずみ セデック語パラン方言における語末 uy の交替
14:20-14:50	[G-3] 荒俣 善成 東京方言における無標音調の実現パターンと句頭のピ ッチ上昇の要因	[H-3] 吉田 浩美 バスク語アスペイティア方言の「後置詞に見える形態 素」と「後置詞」の区別
15:00-15:30	[G-4] 日高 俊夫 韻律と情報構造, 介入効果 —佐賀方言と東京方言の対 照より—	[H-4] 山崎 雅人 アルタイ諸語, 朝鮮語と日本語における動詞「ナル」の 文法化の展開
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[G-5] 横山 (徳永) 晶子 琉球沖永良部国頭方言の疑問文イントネーション	[H-5] 山越 康裕 ブリヤート語未来分詞の文末用法：分詞の「再名詞化」 によるモダリティ表現
16:30-17:00	[G-6] 松倉 昂平 複合名詞アクセントに見る福井県あわら市北潟方言と 高知市方言の対応関係	[H-6] 山田 洋平 モンゴル語の係り結び
17:10-17:40	[G-7] 西村 康平 外来語における双方向の有声性変異	[H-7] 植田 尚樹 モンゴル語ハルハ方言の母音の長さ

■ワークショップ（6月26日（日） 10:00-12:00）

516	[W-1] 日本語の空項：理論的変遷と今後の展望 企画・司会：坂本 祐太
	[W-1-1] 序論 坂本 祐太
	[W-1-2] 意味論的空代名詞分析 藏藤 健雄
	[W-1-3] 動詞残余型動詞句削除分析 船越 健志
	[W-1-4] 項省略分析 坂本 祐太
515	[W-2] 理論言語学と認知神経科学： 言語理論はどうすれば脳科学実験によって確かめられるのか？ 企画・司会：大関 洋平，コメンテータ：酒井 弘，小泉 政利，幕内 充
	[W-2-1] 導入：言語の認知神経科学 酒井 弘
	[W-2-2] 機能的磁気共鳴画像法(fMRI)と統語処理の神経基盤 太田 真理
	[W-2-3] 脳波計(EEG)と予測的統語処理の神経基盤 門馬 将太
	[W-2-4] 脳磁計(MEG)と形態統語処理の神経基盤 大関 洋平
512	[W-3] 複他動詞構文 (Ditransitive construction) とその周辺に存在する問題点 —Malchukov et al. (2010) の枠組みをもとにして— 企画・司会：山田 洋平，コメンテータ：風間 伸次郎
	[W-3-1] 意味地図(semantic map) 山田 洋平，山田 怜央
	[W-3-2] ラワン語の対格小辞の機能 大西 秀幸
	[W-3-3] フィジー語の複他動詞と投擲動詞 岡本 進

## 研究発表会場（慶應義塾大学三田キャンパス）へのアクセス



### ■交通アクセス

- ・ 田町駅（JR山手線／JR京浜東北線）徒歩8分
- ・ 三田駅（都営地下鉄浅草線／都営地下鉄三田線）徒歩7分
- ・ 赤羽橋駅（都営地下鉄大江戸線）徒歩 8分

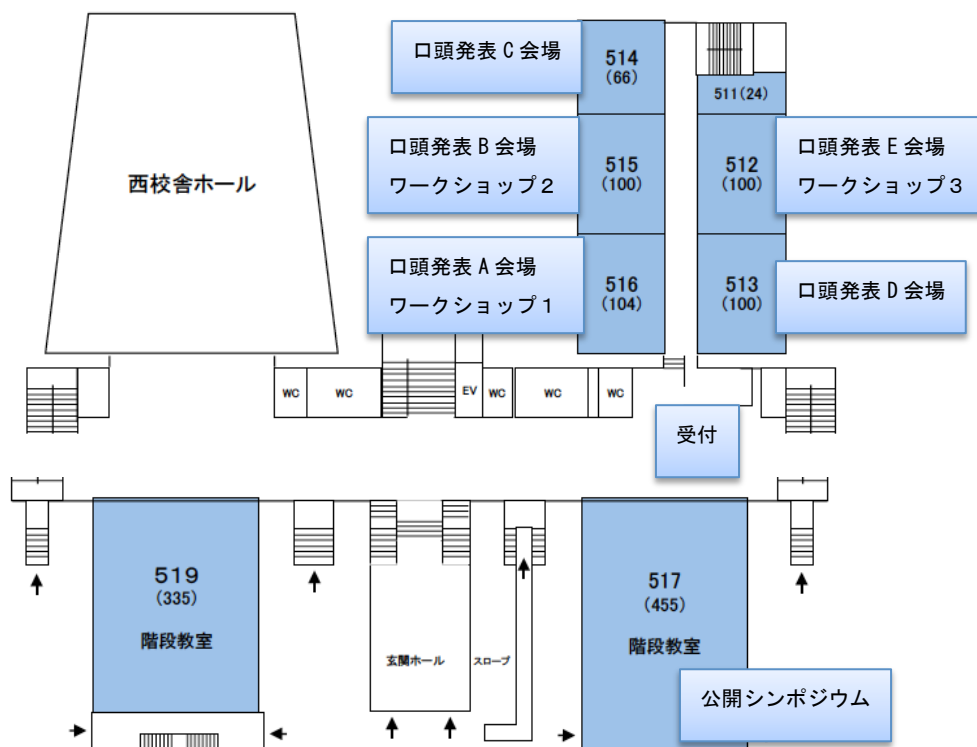
## 慶應義塾大学三田キャンパス 建物配置図



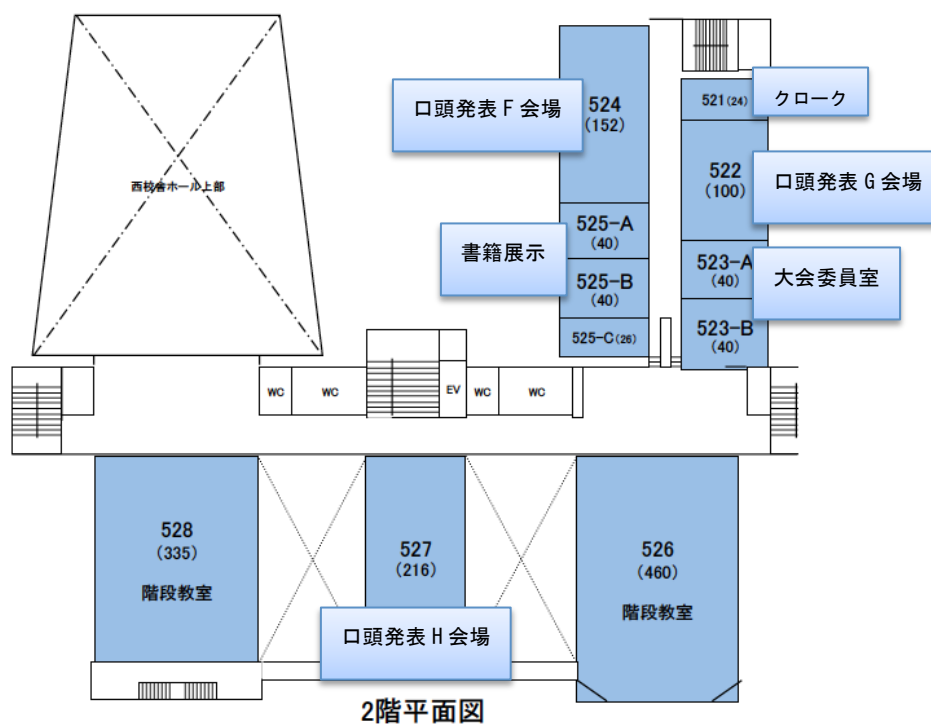
主な建物：①北館 ②図書館旧館（重要文化財） ③東館（東門）④塾監局 ⑤図書館 ⑥南校舎【4階が学生食堂（ザ・カフェテリア）＝懇親会会場・土曜日お食事ができます】 ⑦三田演説館（重要文化財） ⑧大学院校舎 ⑨第1校舎 ⑩研究室棟【評議員会会場】 ⑪西校舎【1, 2階が発表会場・生協食堂, 「山食」で土曜日お食事ができます】 ⑬南館 ⑭生協購買部【土曜日は10:00-14:00営業, 日曜日休業】

※[www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html](http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html)でもご覧いただけます。

# 会場配置図（西校舎）



1階平面図



2階平面図

※ 懇親会場は南校舎 4 階「ザ・カフェテリア」です。

## 学会からのお知らせ

### 熊本地震で被災された皆様へのお見舞い

この度の熊本地震（2016年4月）により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

日本言語学会では被害を受けられた会員の方々に対しまして、会費免除の措置を検討中です。方針が決まりましたら直ちに学会ホームページ、メールマガジン等でお知らせします。

### 『学術用語集 言語学編』の公開先変更

文部省・日本言語学会・日本英語学会（編）（1997）『学術用語集 言語学編』はこれまでもインターネットで公開されていましたが、その公開先が J-GLOBAL に変わりました。

<https://jglobal.jst.go.jp/>

検索ボックスに「言語学編」と入力すると、学術用語集データが一覧でヒットします。また、フリーキーワードを「科学技術用語」のタブで検索すると、絞り込み検索ができます。ぜひご利用ください。

### 特集論文の募集について

『言語研究』第152号（2017年9月刊行予定）では「生成文法～移動現象をめぐって～」というテーマで特集論文を募集します。原稿締め切りは2016年12月31日です。投稿方法は一般論文と同じですが（詳細は学会ホームページを参照）、表紙ページのカテゴリー名に「特集論文」と明記して下さい。

生成文法理論の骨格を築いた『文法理論の諸相』が出版されてから50年が経過した現在、研究分野の進展と拡張の現状を紹介するため、同理論で検討されてきた代表的現象である「移動」をテーマとして、理論言語学・実験言語学・心理言語学など各種アプローチの論文を募ります。Wh 移動やスクランプリングなどのよく知られている移動現象から、一見、移動が関わっているように見えない現象まで幅広いトピックについて、移動の性質、移動に課せられる制約、移動の獲得と発達、移動を含む構造の処理過程と処理の神経基盤などに関する優れた論文を期待します。ふるってご投稿下さい。

[http://www.ls-japan.org/modules/documents/index.php?cat\\_id=22](http://www.ls-japan.org/modules/documents/index.php?cat_id=22)

### 日本言語学会夏期講座 2016 について

日程：2016年8月23日（火）～8月28日（日）（6日間）

会場：大阪大学大学院言語文化研究科（豊中キャンパス）

Web サイト：<http://www.lang.osaka-u.ac.jp/~lsj-summer/index.html>

申し込み：2016年4月1日～7月15日（予定）（詳細は夏期講座のサイトをご覧ください）

#### 開設講座

1 限	生成文法	（初級）	奥 聡	（北海道大学）
	フィールド言語学	（初中級）	長屋 尚典	（東京外国語大学）
	認知言語学	（中上級）	野村 益寛	（北海道大学）
2 限	生成文法	（中級）	斎藤 衛	（南山大学）
	歴史言語学	（中上級）	吉田 豊	（京都大学）
	音声学	（初中級）	中川 裕	（東京外国語大学）
3 限	統語論	（上級）	北原 久嗣	（慶應義塾大学）
	日本語文法	（中上級）	小柳 智一	（聖心女子大学）
	社会言語学	（初中級）	木部 暢子	（国立国語研究所）
4 限	形態論	（中上級）	由本 陽子	（大阪大学）
	対照言語学	（初中級）	廣瀬 幸生	（筑波大学）
	第二言語習得	（初中級）	吉村 紀子	（静岡県立大学）

## お知らせ

### ◆大会参加費と予稿集

大会参加者は大会受付にて参加費（2,000 円）をお支払いの上、名札をお受け取り下さい。今大会より、予稿集は大会の 1 週間前より学会ホームページからダウンロードできるようになりましたのでご活用ください。また今年度に限り、大会受付にて紙媒体の予稿集も配布します（大会前の予約・購入は受け付けていません）。

### ◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、**6 月 3 日（金）（必着）**までに学会事務支局までお申し込み下さい。

### ◆大会期間の昼食について

大学内の食堂は、日曜日は営業していません。周辺の飲食店、およびコンビニエンスストアをご利用ください。受付にランチマップを用意しますので、そちらをご参照ください。

### ◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。会費は、一般 5,000 円、学生 3,000 円を予定しています。

### ◆保育室の設置

保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、2016 年 6 月 9 日（木）までに保育室担当宛（lsj.childcare@gmail.com）に御連絡下さい。

- ・利用可能時間：6 月 25 日（土）12:45-18:00、6 月 26 日（日）9:45-17:00
- ・料金：お子様 1 人あたり 1 時間につき 500 円

### ◆車椅子の利用について

ご利用希望の方は、**6 月 10 日（金）**までにお申し込み下さい。（申込先：lsj152keio@ipinoue.jp）

### ◆手話通訳などについて

手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、学会ホームページの大会案内をご覧ください。

### ◆書籍展示

書籍展示は、西校舎 2 階、525-A・525-B にて行います。

### ◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

前回大会に続き、今大会においても余剰分の『言語研究』バックナンバーを大会会場において無料頒布します（郵送等のサービスは行っておりません）。なお、大会予稿集および『言語研究』のバックナンバーは引き続き郵送での注文も受け付けております。購入をご希望の方は、在庫状況を学会ホームページでご確認の上、学会事務支局までお申し込み下さい。

### ◆クロークの設置

クロークを設置します。ご利用の方は、当日受付にお申し出下さい。

### ◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。（配布物は当日受付にご持参下さい。）

### 次回大会予告（2016 年秋季大会：第 153 回大会）

場 所：福岡大学（〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目 19-1）

日 程：2016 年 12 月 3 日（土）・4 日（日）

公開シンポジウム、口頭発表、ワークショップ、ポスター発表

研究発表募集：**学会ホームページから発表申し込みができます。**

・発表応募締め切り **2016 年 8 月 20 日（土）（必着）**

・採否通知 **2016 年 9 月中旬**

\* 宿泊施設の混雑が予想されます。宿泊を必要とされる方は早めの予約をお薦めします。

### 問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacoss.com